

プロネクサスベトナム現地レポート

(2022年5月 VOL.34)

プロネクサスベトナムが、2022年4月のベトナム現地情報をお伝えいたします。
 今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。

【FDI 動向の概要（2022年1月1日～4月20日）】*4月の数値は20日時点の値

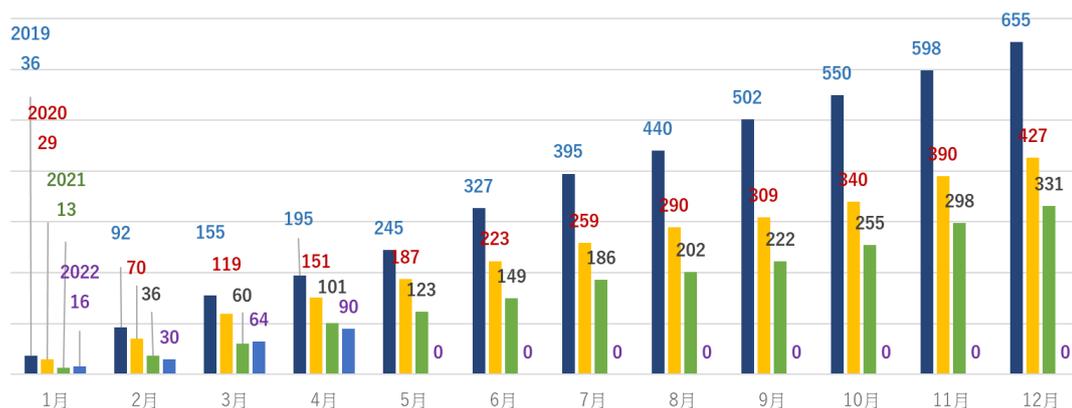
【1】日本の対越投資動向

- 日本の2022年1月1日から4月20日までのFDI投資額は約**7億USドル**（*2021年同期間：約25億USドル、28%）
- 日本の2022年1月1日から4月20日までのFDI投資件数は、**152件**（*2021年同期間：182件、83.5%）
- 証券投資件数を除いた日本の2022年1月1日から4月20日までのFDI投資件数は、**90件**（*2021年同期間：101件、89.1%）

*下グラフ参照

*証券投資を除くFDI投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。

【比較】新規投資件数の推移：2019年から2022年の累計件数の推移



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

【2】世界の対越投資動向

2022年4月の値ですが、海外からのベトナムへの直接投資は、72の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約31億
2位	韓国	約18億
3位	デンマーク	約13億
4位	中国	約11億
5位	日本	約7億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	577
2位	シンガポール	195
3位	中国	165
4位	日本	152
5位	アメリカ	91

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2022年1月1日～4月20日）

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 都市部のインフラ建設プロジェクトで9億4,100万USドル追加投資（シンガポール）2022/1
- ▶ 電子機器製造の工場プロジェクトで3億600万USドル追加投資（香港）2022/1
- ▶ Samsung Electro-mechanics Vietnam Coのプロジェクトで9億2000万USドル追加投資（韓国）2022/2
- ▶ レゴ・グループによるビンズオン省での新工場の設立プロジェクトで約13億2,000万USドルの新規投資（デンマーク）2022/3

上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較し60.7%程度で推移。

*引用元：ベトナム外国投資庁

<4月の投資状況>

2022年4月までの外国からベトナムへのFDI投資をみると、コロナウイルスの影響で金額、件数ともに伸び悩んでいる状況にあります（対前年比 約60.7%程度）。

外国からベトナムへの新規プロジェクトへの投資は454件（対前年比100.7%程度）、金額は37億USドル（対前年比43.5%）。同様に外国からベトナムへの既存プロジェクトに係る増資に関しては、323件行われ（対前年比122.8%程度）、金額は52.9億USドル（対前年比195.9%）に達しました。

<ベトナムのデジタル改革について>

ベトナム情報通信省によると、**デジタル経済の国内経済への貢献が増加しています**。2022年1～3月期のデジタル経済の売上高は530億USD(約6兆8000億円)だったと推定されます。また、1～2月期に新設されたデジタルテクノロジー企業の数は一昨年比+487社増の6万5329社となりました。

世界銀行のデータによれば、ベトナムのデジタル産業は毎年10%ずつ拡大しており、2045年には2000億ドル以上に達する可能性があり、昨年のベトナムのGDPが約3520億ドルであることと比較すると、非常に大きな数字であることがわかります。

ベトナムは今世紀半ばまでに2つの大きな目標を掲げています。ひとつは第13回全国党大会の決議に基づき2045年までに高所得国になること、もうひとつは2021年の国連気候変動会議(COP26)でPham Minh Chinh首相が約束した、2050年までに二酸化炭素排出量を正味ゼロにすることです。

国際金融公社アジア太平洋地域副社長のアルフォンソ・ガルシア・モラ氏は「ベトナムは現在、気候変動への適応を学びながら豊かな国になるという目標を達成するために、労働生産性を新しいレベルに引き上げなければなりません。その課題を解決するための鍵はテクノロジーとデジタルトランスフォーメーションである」と述べました。

なお、アルフォンソ氏は「若年人口率やスマートフォンやインターネットの普及率の高さも、ベトナムがデジタル変革を加速させるための有利な要因である」と評しました。

*引用元:

VIET JO 「デジタル経済、1～3月期の売上高6.8兆円に」

<https://www.viet-jo.com/news/economy/220215153155.html> (参照 2022/04/28)

VnExpress 「Digital transformation key to Vietnam's ambitions of getting rich and clean」

<https://e.vnexpress.net/news/economy/digital-transformation-key-to-vietnams-ambitions-of-getting-rich-and-clean-4458606.html> (参照 2022/05/02)

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【ベトナムへの海外からの直接投資 (Foreign Direct Investment 以下、FDI) 5月の動向について】をお伝え致します。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。